

重点要望

小千谷市におかれては、平素から地域経済を担う中小企業・小規模事業者に対してご支援を賜り御礼申し上げます。

国の経済は、米国の通商政策等による影響が一部みられるものの緩やかな回復基調を取り戻し、全体として好調さを維持しているとしていますが、地域経済は産業構造、アクセス性、人口減少などの差がその回復の程度を左右しています。

地方の中小企業・小規模事業者は、価格高・円安・資材・運輸コストの上昇などの重圧があること、また人手不足の深刻さが繰り返し報告されています。賃上げを行いたくてもコスト転嫁が難しいケースが多く、収益性や資本力の弱さが制約になる場合が少なくありません。外部環境の不確実性が増す中で、地方に多く存在する中小規模事業者の生産性・経営体力を強くするための施策が国・県と市にはこれまで以上に求められています。

国は新たな成長産業のGXに関し、産業用地整備と脱炭素電源の整備を進め、今後の地方創生と経済成長につなげるとしています。市としても、これに限らず国が進める施策を研究し、地域経済の成長を生み出すための投資や整備を促す施策を講じる必要があります。

また、市内には多様な観光資源があるものの、多くの来訪者が市外に宿泊し、市内の消費機会を逃しています。宿泊施設を整備するなどしてこれらの需要を充たすことで一日も早い市街地の活性化と賑わい回復が待たれます。

つきましては、下記の3項目を重点要望いたします。

記

1. 人手不足を補うための中・長期的施策
2. 原発再稼働のメリットを経済界が実感できる施策
3. 市街地の活性化

小千谷商工会議所
会頭 高野史郎

個別要望

商工会議所に係る支援

■要望内容

中小企業相談所業務にかかる市補助金の増額

■要望理由

国の調査（令和3年経済センサスー活動調査）によると、市内民営事業者のうち8割強は小規模事業者です。これら事業者は、生産、雇用、消費、公租公課など地域経済循環の担い手であるとともに、経営者や従業員の多くが市内居住者であることから、文化や技術の伝承・継承、防災・減災、商業インフラ、コミュニティなど、地域の発展に不可欠な存在です。

現在、事業者が直面している物価高騰や人手不足などは、人材や資金などの経営資源が限られることから事業所単独で課題に対応していくことは厳しい状況にあります。加えて小規模事業所にあっては、事業承継が喫緊の課題となっています。伴走しながら経営諸課題の解決を支援してきた支援機関の役割はこれまで以上に重要となっています。

支援機関の中核である商工会議所では、引き続き中小企業・小規模事業者の自己変革と持続的成長に向けた取組みを支援し地域経済を活性化していかねばなりません。そのためには事業者の経営力向上、収益改善を伴走支援することがこれまで以上に求められますが、多様化・高度化する経営課題に対応するためには商工会議所の経営支援体制の拡充と支援力強化が必要です。

卸売商業部会に係る支援

■要望内容

- ①外国人就労者のいる事業者向け家賃、その他経費の補助
- ②子育て支援を充実し、人の来る環境整備
- ③若者の就業意欲を高める企業誘致

■要望理由

①について

外国人を雇用する場合、人材紹介会社への紹介料の他、在留資格の変更手続きや更新手続き費用(申請費4千円 行政書士に依頼する場合5～10万円)、健康診断費用(1万円)、渡航費用(面接官が海外で面接をする場合、日本から現地までの往復費用 海外で採用した外国人が来日する際にかかる渡航費)、住居を借りる場合は、初月の家賃と敷金・礼金、在留資格認定証明書の交付申請費用(10万～15万円)と、経費が多額となることから支援が必要です。

②について

小千谷市は流出人口が多く、流入人口が少ない現状です。子供を育てるうえで不安に考えることは、教育費や養育費などの経済面であることから、国が定めた住宅所得控除とは別に小千谷市へ定住するために取得した住宅ローンや就学にかかる教育ローンに対する助成のような小千谷市に住みたいと考える若者世帯や現在小千谷市に住んでいる若者世帯にメリットのある環境づくりが必要です。

③について

小千谷市は若年層の市外流出が続いていることから、地域の持続的な発展には、若者が「働きたい」「住みたい」と思える職場環境の整備が必要です。それには若者の雇用を創出するための企業誘致が必要で、誘致する企業は規模の大きい企業ではなく、現代の若者の価値観に合った「IT・クリエイティブ系企業」、小千谷市との親和性の高い「農業ベンチャー」「地域資源を活かした商品開発企業」、U・Iターン希望者の受け皿となる「東京本社のサテライトオフィス」「コールセンター」などが考えられます。

また、企業誘致にあたっては空き家・空き店舗を活用した企業拠点の設置支援、通信環境の整備などを行うとともに、「小千谷で働く魅力」を伝える動画やSNS発信の強化を行い、小千谷市で若者が働きたいと思える環境整備が必要です。

小売商業部会に係る支援

■要望内容

- ①物価高騰に対応した市の予算確保
- ②街なかの駐車場整備による集客

■要望理由

①について

昨今の物価やエネルギー価格の高騰により、市内事業者は収益を圧迫されているにもかかわらず、これらの事業者に対して市は納入価格値下げを要請することがあります。小千谷市においては、市内の事業者の利益を圧迫することが無いような予算確保が必要です。

②について

市内の中心市街地の商店街には駐車場がない個店が多くあります。店の前は駐車禁止であることから、車で来る買い物客は広い駐車場のある大型店へ行ってしまい、商店街の店舗はお客を逃している状況があります。

柏崎市では今年、「ぎおん柏崎まつり 海の大花火大会」における駐車場不足の解消、周辺の交通渋滞緩和、違法駐車防止のため、ぎおん柏崎まつり協賛会と軒先株式会社（駐車場シェアサービス「軒先パーキング」を運営）が連携して個人、法人が保有する駐車スペースの募集を行いました。

買い物客が市内の商店街で安心して買い物できるよう、この仕組みを小千谷市でも取り入れ、商店街付近で空き駐車場を持つ月極駐車場や事業所、個人が登録できるよう周知等が必要です。

工業部会に係る支援

■要望内容

- ①電気料金補助の拡充
- ②デジタル人材の育成・DX推進への補助
- ③人不足対策に対する人材の流動化支援

■要望理由

①について

事業を行う上で特に工場稼働などにかかる電気料金の高騰が経営に大きな影響を与えており、企業努力だけでは補えなくなっています。

また、柏崎刈羽原発の再稼働は安全性を担保のうえで必要だと考えますが、例えば長岡市のように送電地域への電気代補助のように、小千谷市へのメリットを明確に打ち出す必要があります。

②について

中小企業こそ DX により大企業と対抗できる可能性がありますが、現在のデジタル人材の育成や DX 推進への小千谷市の補助金額は少なすぎます。補助金額を拡充し小千谷市全体でデジタル人材の育成強化や DX への取組みへの後押しが必要です。

また、小千谷市が開催するセミナーの参加者が少ない事（商工会議所も同様）が問題であり、市が率先して電算化や DX の必要性を啓蒙する活動の強化が必要です。

③について

人手不足の解決策として、妙高市で人材シェアリングが3～4ヶ月単位で行われています。例えば夏場に建設、冬場に日本酒製造といった季節的な仕事に対応できることで、都市部からの移住者獲得にも繋がります。

小千谷市でもこれを参考に人材支援を工夫する必要があります。

交通部会に係る支援

■要望内容

- ①高齢者の移動手段確保
- ②中小事業者の設備投資・人材育成支援

■要望理由

①について

小千谷市においては、高齢化による免許返納者が増えています。しかしながら、病院や買い物などの日常生活に必要な移動手段が十分に整っていないことから、返納後の生活に大きな不安を抱えている高齢者が少なくありません。特に山間部では公共交通が限られており、自家用車がなければ生活が成り立たないのが現状です。

この状況を改善するために、タクシー業界との連携による乗合タクシーや送迎サービスの拡充、循環バスの路線見直し・増便、さらには予約制によるオンデマンド交通システムの導入など、移動手段の確保に向けた施策の強化が必要です。

②について

自動車整備業や石油販売業は市民の生活を支える基盤産業です。近年は自動車の高度化や環境規制の強化により、新たな設備投資や資格取得が不可欠となっております。一方で、設備投資に要する費用は中小企業にとって大きな負担であり、国や県の補助制度は少額であったり採択が難しかったりするため、十分に活用できない現状があります。さらに、危険物取扱などの必須資格についても受験機会が限られており、人材育成が進みにくい状況です。

市として中小事業者向けの設備投資助成制度の拡充や、国・県制度に加えた上乘せ支援の創設と、資格取得支援として試験会場の誘致や受験料助成の検討、補助金・支援情報のわかりやすい発信強化が必要です。

建設工業部会に係る支援

■要望内容

- ①リフォーム補助金の継続と補助率の拡充
- ②小規模な予算内公共工事の単独業者発注
- ③市内事業者への優遇措置

■要望理由

①について

地元事業者に元気があってこそその地域経済の好循環です。今後も継続的な実施を望みますが、補助金額の上限10万円については、より多くの世帯が利用しやすくなるよう、補助率の拡充について検討する必要があります。

②について

小千谷市は小規模な公共工事において、設計段階で厳密な見積もりを求めるケースがあり、業者側にとって負担となることがあります。こうした工事については、単独業者による設計・施工が可能となるような柔軟な発注方式の検討が必要です。地域業者の技術力を活かし、効率的かつ円滑な事業推進につながる制度設計が必要です。

③について

小千谷市は、市内の大型新築工事において市内事業者の参入割合が低い現状が見受けられ、地域経済への波及効果が限定的となっています。市内事業者の技術力や実績を活かすためにも、発注時の優遇措置や情報提供の強化が必要であるとともに、市が行う宅地分譲事業においては、営業力のある大手住宅メーカーが先行しがちであるため、条件提示や募集情報を市内事業者に優先的に提供するなど、地元企業が参画しやすい環境整備が必要です。

観光サービス部会に係る支援

■要望内容

- ①中心市街地の活性化
- ②プレミアム付き商品券事業の実施と継続的な消費喚起
- ③物価・エネルギー価格高騰に対する負担軽減

■要望理由

①について

市には多様な観光資源や美味しい食文化があるにもかかわらず、宿泊施設が極めて少ないために多くの来訪者が市外に宿泊し、市内での消費機会を逃しています。宿泊施設を整備し、観光客の滞在時間を延ばすことで市街地の活性化とまちの賑わいを回復することが必要です。

②について

エネルギー、原材料、資材、人件費の値上りは業種・業界を問わず多くの事業者に深刻な影響を与えています。市民も物価高騰のため消費マインドは節約に回っており、冷え込む一方の地域経済を少しでも活性化するための対策が必要です。

また、プレミアム付き商品券の発行にとどまらず激変する経済環境に応じた消費喚起施策を継続的に実施することで、市民の消費マインドを下支えし、地域経済の安定した循環、成長を促すことが必要です。

③について

電気代、ガス代などエネルギー価格の値上がりは経済へ及ぼす影響は大きいものがあります。国の電気・ガス料金負担軽減施策があっても、事業所・市民ともに大きな負担であることは変わりなく、国の支援だけでは十分でないことから、小千谷市独自のエネルギー価格高騰にかかる支援が必要です。

諸業部会に係る支援

■要望内容

- ①空き家バンク制度の周知とマッチングなどによる活用促進
- ②生成 AI 活用に関する啓蒙と学習機会の提供
- ③農業の産業化

■要望理由

①について

小千谷市において人口減少と高齢化が進行する中、地域の持続可能性を確保するためには、定住人口の維持・増加、交流人口の拡大が必要です。それには、地域資源である空き家を積極的に活用し、住環境の整備と地域の魅力向上を図ることが不可欠です。空き家の活用は地元業者のリフォーム発注にもつながり、直接的な経済効果も同時に期待できます。現在、空き家バンク制度はありますが、登録件数や利用件数は限られており、本制度の市民への浸透も十分とは言えません。

②について

生成 AI の急速な普及により地域の事業者や市民生活、教育の場においてもその活用が進みつつある一方で、著作権侵害の懸念、情報の信頼性、倫理的な課題など、リスクへの理解と対応が求められています。専門家を招いた講演やワークショップを定期的で開催し、生成 AI に対する正しい理解と活用を図ることが必要です。

また、小中高等学校や地域の学習機関と連携し、AI との向き合い方や情報の扱い方についての教育機会を提供していただき、小千谷市の将来を担う子供達への正しい情報リテラシー教育につなげる必要があります。

③について

小千谷市では個人農家が多く、設備投資や販路拡大には限界があります。また、高齢化や後継者不足は深刻で将来への不安が高まっています。近年都会で就農希望の若者や女性は多く、定住・交流人口増加に向けたチャンスがあるにも関わらず、こうした理由から受け入れ先が少ないのが現状です。

地域の農業の産業化については、個々の農家に経営ノウハウが少ないことから農業経営コンサルタントの常設や、マッチングも含めた販路開拓支援、個人農家同士の共同加工や流通などの共同連携事業支援が必要です。